

(2) 指導計画

単元名		うごくおもちゃ	総時数	8時間
学習指導要領の内容		動くおもちゃを工夫して作ったり動かしたりさせながら、風、ゴムなどのはたらきに気付かせる。		
単元の目標		1 風やゴムの力で動く簡単なおもちゃを作ったり、それで遊んだりしながら、よりよいものへと工夫することができる。 2 遊びを通して、おもちゃの動き方などから風やゴムのはたらきに気付く。 3 材料や用具の適切な扱い方に関心を持ち、楽しく活動する。		
項	目	ねらい	学習内容	時数
(1) 風で動くおもちゃ	① 風輪を作る	風輪作りや遊びを通して風についての関心を持つとともに、これからの学習に興味を持つ。	ア 風輪を作り、風のある所や風のない所で回して遊ぶ。 イ よく回る風輪を工夫する。	1
	② 帆かけ舟を作る	ア 身のまわりから舟になる材料を探してきて帆かけ舟を作る。 イ 風の強さや向きなどを変えると、舟の動きが変わることに気付く。 ウ よく動く舟を工夫して作る。	ア 画用紙などで簡単な帆かけ舟を作り、動かして遊ぶ。 イ 身のまわりにある空き箱など廃品を利用して帆かけ舟を作り、水に浮かべて遊ぶ。 ウ 友達と競争したりしながらよく動く舟を工夫して作る。 エ 風の強さや向きなどを変えて遊ぶ。	1.5
	③ 風で動くおもちゃを工夫して作る。	自分たちで工夫して、風で動くおもちゃを作ったりそれで遊んだりしながら、風のはたらきに気付く。	風車など風で動くおもちゃを工夫して作り楽しく遊ぶ。	1.5
(2) ゴムで動くおもちゃ	① 円盤を飛ばそう	ゴムで簡単なおもちゃが作れることに気づき、ゴムを用いて、円盤をより遠く飛ばす工夫をする。	ア 棒に輪ゴムをつけ、それで円盤を飛ばして遊ぶ。 イ ギョムをいろいろに変えて、遠くまで飛ばす工夫をする。	1
	② ロケットを飛ばそう	ロケットを作り、それを遠くまで飛ばす工夫を通して、ゴムのはたらきに気付く。	飛ぶものを筒にしたり翼をつけたりして、飛行機やロケットを工夫して作り、友達と飛ばして遊ぶ。	1
	③ 糸巻き車を作る	よく動く糸巻き車や、その他ゴムで動くおもちゃを工夫して作ったり遊んだりしながら、ゴムのはたらきに気付く。	ア 糸巻き車を工夫して作り、動かしたり友達と競争したりして楽しく遊ぶ。 イ ギョムで動くいろいろなおもちゃを工夫して作り、楽しく遊ぶ。	2